

様式第七（第九条関係）

## 特定施設使用届出書

令和 年 月 日

鹿児島市水道事業及び  
公共下水道事業管理者 殿

申請者

住所

電話番号

氏名

（氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名）

下水道法第12条の3第2項

下水道法第12条の3第3項の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		※施設番号	
△特定施設の構造	別紙1のとおり	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり	※備考	
△汚水の処理の方法	別紙3のとおり		
△下水の量及び水質	別紙4のとおり		
△用水及び排水の系統	別紙5のとおり		

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 特定施設の構造

特定施設の種類 (名称)		
特定施設の型式		
特定施設の能力		
特定施設の構造	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
着工予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
完成予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
使用開始予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
参考事項	年間操業日数： 日	

## 備考

- 1 特定施設の種類については水質汚濁防止法施行令（昭和 46 年政令第 188 号）別表第一及びダイオキシン類対策特別措置法施行令（平成 11 年政令第 433 号）別表第二に掲げる号番号及び施設名称並びに特定施設を構成する各種装置を記入すること。
- 2 特定施設の構造については、その構造概要図を添付すること。概要図は主要寸法を記入し日本産業規格 A 4 の大きさに縮小したもの、又は既存図を用いること。
- 3 特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図（施設番号をつける）を添付すること。

## 特定施設の使用方法

特定施設の種類 (名称)			
特定施設の設置場所			
使用状況	使用時間間隔	: ~ : : ~ : 時間/1回    回/日	: ~ : : ~ : 時間/1回    回/日
	1日の使用時間		
	季節変動		
使用原材料 (特定施設の作業 工程に使用する 原材料。(消耗 資材を含む。))	種類		
	使用方法		
	1日当りの使用量		
特定施設から 排出される汚水 の水量及び水質	水量	通常量	m <sup>3</sup> /日
		最大量	m <sup>3</sup> /日
	水質	通常値	
		最大値	
参考事項			

## 備考

- 1 「特定施設の設置場所」は、別紙（添付図）で事業場全体図に特定施設・処理を要する排水にかかわる施設の設置場所を記入すること。
- 2 「水質」の欄には、作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値等を記入すること。
- 3 「特定施設を含む操業の系統」について、その概要を記した説明書を添付すること。

汚水の処理の方法

汚水処理施設の種類（名称）				
汚水の処理施設の設置場所				
汚水処理施設の 設置年月日	着工予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
	完成予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
	使用開始予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
汚水処理施設の 構造等	型式			
	構造			
	主要寸法	別紙図面のとおりに	別紙図面のとおりに	
	能力			
	処理の方法			
汚水処理施設の 使用状況	使用時間間隔	: ~ :	: ~ :	
	1日の使用時間			
	季節変動			
	消耗資材（薬品等） の使用量 / 日	/日	/日	
汚水処理施設で 発生する残さ等	残さの種類			
	1月間の生成量	/月	/月	
	処理・処分の方法			
汚水処理施設による 処理前及び処理 後の水量・水質	通常	通常	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日
		最大	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日
	水質	通常値		
		最大値		
	通常	通常	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日
		最大	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日
	水質	通常値		
		最大値		

- 備考 1 「汚水処理の系統」：処理の概要を別紙添付図に記入し、処理系統別に色分けすること。
- 2 汚水の集水及び処理施設から最終排出口までの導水の概要を、別紙添付図に記入し系統別に色分けすること。
- 3 「水質」の欄には、作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値または推定値を記入すること。

下水の量及び水質

・ 公共下水道への排出口における水量及び水質

排出口名							
下水の量		通常量	m <sup>3</sup> /日		m <sup>3</sup> /日		
		最大量	m <sup>3</sup> /日		m <sup>3</sup> /日		
下水の水質	項目	単位	通常値	最大値	通常値	最大値	
	温度	℃					
	水素イオン濃度	水素指数					
	生物化学的酸素要求量	mg/L					
	浮遊物質量	mg/L					
	ノルマルヘキサン抽出物 質含有量	鉱油類含有量	mg/L				
		動植物油脂類含有量	mg/L				
	よう素消費量	mg/L					
	カドミウム及びその化合物	mg/L					
	シアン化合物	mg/L					
	有機リン化合物	mg/L					
	鉛及びその化合物	mg/L					
	六価クロム化合物	mg/L					
	ひ素及びその化合物	mg/L					
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L					
	アルキル水銀化合物	mg/L					
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L					
	トリクロロエチレン	mg/L					
	テトラクロロエチレン	mg/L					
	ジクロロメタン	mg/L					
	四塩化炭素	mg/L					
	1,2-ジクロロエタン	mg/L					
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L					
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L					
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L					
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L					
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L					
	チウラム	mg/L					
	シマジン (CAT)	mg/L					
	チオベンカルブ	mg/L					
	ベンゼン	mg/L					
	セレン及びその化合物	mg/L					
	ほう素及びその化合物	mg/L					
ふっ素及びその化合物	mg/L						
1,4-ジオキサン	mg/L						
フェノール類	mg/L						
銅及びその化合物	mg/L						
亜鉛及びその化合物	mg/L						
鉄及びその化合物 (溶解性)	mg/L						
マンガン及びその化合物 (溶解性)	mg/L						
クロム及びその化合物	mg/L						
ダイオキシン類	pg-TEQ/L						

備考

- 1 排出口が 2ヶ所以上ある場合は、排出口ごとに記入すること。
- 2 「水質」の欄には、下水が公共下水道に排出される際の水質を排出口ごとに記入すること。

## 用水及び排水の系統

当該特定事業場における使用水の取水から特定施設、污水处理施設を経て、公共下水道に排除されるまでの系統について図示し、これに各々の工程に入る水の量を記入して用途別用水量を明確にすること。

事業場名 \_\_\_\_\_

令和 年 月 日

使用薬品等調査票 (1/2)

チェック※1	物質名	薬品名	使用量	使用方法	使用期間※2
	該当なし				
	四塩化炭素				
	1,2-ジクロロエタン				
	1,1-ジクロロエチレン				
	1,2-ジクロロエチレン				
	1,3-ジクロロプロペン				
	ジクロロメタン				
	テトラクロロエチレン				
	1,1,1-トリクロロエタン				
	1,1,2-トリクロロエタン				
	トリクロロエチレン				
	ベンゼン				
	カドミウム及びその化合物				
	六価クロム化合物				
	シアン化合物				
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物				
	セレン及びその化合物				
	鉛及びその化合物				
	砒素及びその化合物				
	ふっ素及びその化合物				
	ほう素及びその化合物				
	1,4-ジオキサン				
	シマジン				
	チウラム				
	チオベンカルブ				
	ポリ塩化ビフェニル (PCB)				
	塩化ビニルモノマー				
	有機りん化合物※3				
	ダイオキシン類				

事業場名 \_\_\_\_\_

令和 年 月 日

### 使用薬品等調査票 (2/2)

チェック※1	物質名	薬品名	使用量	使用方法	使用期間※2
	該当なし				
	フェノール類				
	銅及びその化合物				
	亜鉛及びその化合物				
	鉄及びその化合物 (溶解性)				
	マンガン及びその化合物 (溶解性)				
	クロム及びその化合物				

#### 注意事項

- ※1 現在使用している物質のチェック欄に○をつけ、使用開始年日を記入すること。
- ※2 以前使用していた物質のチェック欄に△をつけ、使用していた期間を記入すること。
- ※3 有機りん化合物は、ジエチル<sup>o</sup>ラニトロフェニルホスフェイト (別名パラチオン)、ジメチル<sup>o</sup>ラニトロフェニルホスフェイト (別名メチルパラチオン)、ジメチル<sup>o</sup>エチルホスフェイト (別名メチルジメトン) 及びエチル<sup>o</sup>ラニトロフェニルホスフェイト (別名E P N) の4物質に限る。